

第487号 4月号 2025.4.21

岐阜県

# 商店街だより



発行元：岐阜県商店街振興組合連合会 岐阜市藪田南 5-14-53 TEL：058-277-1107

## 本町商店街 おしごとたいけんかい 高校生がつなぐ高山市の昔と今と未来

◆主催：飛騨高校マルシェ

2025年3月2日(日)に、高山市内で飛騨高校生マルシェが主催する「おしごとたいけんかい」が開催されました。この催しは、地元の高校生が中心となって企画し、商店街の活性化と地域の魅力を再発見することを目的としています。イベントを通じて、子どもたちが地元の文化や商店街の魅力を体験し、地域の人々との交流を深める機会を提供します。また、若者が主体となって地域に関わることで、商店街を「懐かしい場所」から「行きたい場所」へと変える試みでもあります。

### ■ イベントの詳細～カラーペン作り～

子どもたちは自由に色を組み合わせ、自分だけのオリジナルペンを作成。高校生が先生役となり、アイデアを形にするサポートを行いました。会場には、「この色を混ぜたら？」と好奇心いっぱいの声が飛び交い、完成したペンはどれ



▲カラーペンづくり

も自慢したくなる出来栄でした。ものづくりの楽しさと、自作のペンで書く喜びを味わいました。

### ■ イベントの詳細～お数珠づくり～

商店街の仏具店の協力で、子どもたちは伝統文化に触れながらお数珠を制作。初めは戸惑いながらも、手を動かすうちに夢中に。完成品は「本当に自分で作ったの？」と驚くほどの仕上がりで、親に見せるのを楽しみにする姿も。伝統文化を楽しく学ぶ機会となりました。



▲お数珠づくり

### ■ イベントの詳細～ミニ四駆づくり～

プラモデル感覚でパーツを組み立てる作業に最初は戸惑いつつも、次第に慣れ、自分のミニ四駆が完成。特設サーキットでのレースが始まる

と、一気に熱狂の渦に。自作のミニ四駆が疾走する喜びに、子どもたちは夢中になりました。スマホゲームでは味わえない手作りの達成感が心に刻まれる体験となりました。



▲ミニ四駆づくり～サーキット会場にて～

## ■ 大人と高校生の共創 — まちの未来を担う新たなチャレンジ

このプロジェクトは、高校生だけでなく、地域の大人たちの協力のもとで成り立っています。商店街の店舗や担当者たちは、彼らのアイデアを実現するために支援を惜しみませんでした。こうした共創の場が生まれることで、若者と地域の大人たちとのつながりが深まり、持続可能な地域づくりの第一歩となっています。

また、高校生の柔軟な発想やエネルギーが、商店街の伝統的な営みに新たな価値をもたらしています。若者が積極的に地域に関わることで、商店街が長く続くための土台を築こうとしています。



▲飛騨高校マルシェのメンバーと支援者

す。

## ■ 「懐かしい場所」を「行きたい場所」に — 商店街の再発見

高校生たちの活動によって、商店街が再び注目されるようになっていきます。イベントに参加した子どもたちやその家族が、「こんな面白いお店があったんだ」「また来たい」と感じることで、商店街がより身近な場所になっていきます。また、高校生自身も商店街の魅力を再発見し、地域の良さを伝える役割を担っています。

さらに、イベントを通じて商店街を訪れる人々が増えることで、地域の経済にも好影響をもたらしています。商店街の個性豊かな店舗や老舗の味を知る機会が増え、観光客だけでなく、地元の人々にとっても魅力的な場所として再認識されています。商店街が単なる買い物の場ではなく、人と人がつながる場として機能することで、地域の温かみが感じられるようになっていきます。

## ■ 帰省したくなる町へ — 高校生が生み出す“記憶に残る”商店街

地方の町では、高校卒業後に多くの若者が進学や就職で町を離れます。しかし、こうしたイベントを通じて、地元に残る思い出を作ることができれば、「また帰りたい」と思う人が増えるかもしれません。高校生たちの取り組みが、将来的に地域に戻ってくるきっかけを生み出す可能性を秘めています。

商店街のイベントに関わった経験が、「この町で過ごした時間が楽しかった」と思えるきっかけになれば、それが帰省につながる理由の一つになるでしょう。また、地元への愛着を持つことで、将来的にUターンやIターンを考えるきっかけになるかもしれません。こうした取り組みが継続することで、地域の絆が深まり、次の世代にもその思いが引き継がれていくことが期待されます。

この催しは、単なるイベントではなく、地域の未来を創る第一歩です。高校生たちの挑戦が、こ

れからも高山の商店街をより魅力的な場所へと進化させていくことでしょう。

## ■ 編集後記～取材を終えて～

このイベントは、地域活性化の観点から大きな価値を持ちます。高校生が主導することで若者の地域参画を促し、商店街の活性化や世代間

交流を生み出します。商店街の魅力が再発見されることで、地域の経済活性化にも寄与し、観光資源としての可能性も広がります。また、地域での良い思い出が帰省や移住の動機となり、持続可能なまちづくりの礎となるでしょう。このイベントは、単なる催しを超え、地域の未来を築く重要な取り組みです。

# まちゼミ ～商店街のプロに学ぶ、暮らしを彩る知恵袋～

◆主催：大垣市商店街振興組合連合会

2025年3月1日（土）から大垣市商店街で、第21回「まちゼミ」が開催されました。「まちゼミ」は、商店街の活性化と地域のつながりを深めることを目的としたイベントです。

\*\*\*\*\*

注目のグルテンフリー

～米粉の魅力と特徴を知る～

naion.kitchen／坂井きよみ 講師

\*\*\*\*\*



▲坂井きよみ講師

## ■ イベントの様子

「naion.kitchen」の坂井きよみ講師による、米粉の蒸しパン作りイベントが開催されました。講師の明るく丁寧な指導により、初心者も安心して参加でき、会場は終始和やかな雰囲気に包まれていました。「思ったより簡単」「また参加したい」との声も多く、盛況のうち

に終了しました。

## ■ 活動のきっかけ

活動の原点は、ご主人の大病を機に始まった食生活の見直しです。パン好きの夫のために、グルテンフリー食材を探す中で米粉と出会い、学びを深めて講師資格を取得。同じ悩みを持つ人の役に立ちたいと活動を始めました。

## ■ 米粉の魅力を広げる活動

坂井さんは米粉を“代用品”ではなく、魅力ある食材として広めるため、簡単なレシピを教室で紹介。マルシェやSNSでの発信も行い、今後は飲食店や生産者と連携して商品開発などにも挑戦していく予定です。

\*\*\*\*\*

さくら鯛 三枚おろし講座と

京の味 鯛茶漬け！

京風寿司 和食処 駅前にしき／西脇 講師

\*\*\*\*\*

## ■ イベントの様子

「京風寿司 和食処 駅前にしき」の西脇さんによる、鯛の三枚おろし実演イベントが開催されました。鯛の種類や産地、日本文化における意





▲西脇講師

味も解説され、参加者はその技と知識に見入っていました。家庭向けの捌き方のコツも紹介され、京風アレンジのお茶漬けの試食も好評でした。

## ■ 店主のまちゼミにかける思い

西脇さんは「料理を通じて食材の魅力を伝える」ことを大切にし、食材の知識や歴史を交えた講座を開催。鯛の旬や神経締め技術、鮮度の見極め方などを実践的に学べる内容で、シンプルなレシピの提案も行っています。

## ■ 店主が思い描く未来

今後は「カルパッチョ風の刺身」や「和風ステーキ」など、新たな講座を計画中。地元食材を活かしたメニュー開発やコラボも視野に入れ、料理の背景を知る楽しさを広めていく予定です。

# 柳ヶ瀬の隠れ家的「串」レストラン 「串易SAGE.n《アゲセイジン》」 (岐阜柳ヶ瀬商店街振興組合連合会)

串易SAGE.n《アゲセイジン》柳ヶ瀬の隠れ家的「串」レストラン。オーナー兼料理長である野村さんにお話を伺いました。



▲串易SAGE.nの素材

## ■ フレンチの世界で腕を磨いた修業時代

オーナーの料理人人生は、フランス料理から始まりました。東京では名店にて修業を積み、『料理の鉄人』で知られる巨匠・石鍋裕さんのもとで経験を重ねられました。その後、名古屋や中部国際空港のレストランでも腕を磨かれましたが、「世界にはまだまだ自分の知らない食べ物や調理方法があるのでは」と感じ、新たな道を模索し始めます。

## ■ サンドウィッチに魅せられて

岐阜に戻りカフェで働く中で、世界のサンドウィッチ文化に出会います。アメリカ、ヨーロッパ、中南米、アジアと多様なサンドウィッチを研究し、フレンチの技術と融合させて生まれたのが「BBCサンド」でした。サンドウィッチ専門店「BBC」はたちまち話題となり、フルーツサンドをきっかけに、ショッピングモール15店舗に卸すなど展開が広がりました。今はさらなる味の探求のため閉店しておりますが、2023年には一日限定で「BBC」を復活。たった2週間の告知にもかかわらず100人以上が訪れ、名物サンドは即完売しました。

## ■ 「串易SAGE.n」誕生秘話と屋号に込めた想い

その後、奇跡の出会いから誕生したのが『串易SAGE.n』です。「串」にささった「揚げ物」で『串易』の文字、オーナーが洋食のコックということで「SAGE」=香草のセージのスペル、

読み仮名が「サゲ(下げ)になるため「. n (ん)」をつけて「上(揚)がりっぱなしなこと」を意味しています。そんなオーナーが岐阜の素材を活かした和洋折衷の創作揚げ物を提供しています。

## ■ 地元食材 × 揚げ物＝唯一無二の料理スタイル

もともと若いころは「岐阜に魅力を感じていなかった」と語るオーナーですが、都市での修業を経て地元に戻ったとき、岐阜の食材の豊かさ



▲「串易SAGE.n」野村オーナー

や生産者さんの熱意に驚かれたそうです。今では農家を訪ね、直接仕入れた素材で料理を構成。料理人として、生産者とお客様をつなぐ“代弁者”でありたいと考えていらっしゃいます。

## ■ 今後は再び「柳ヶ瀬商店街」復活へ

現在は「『串易SAGE.n』」やこの柳ヶ瀬から、岐阜の美味しいものやたくさんの魅力を、県内外問わず伝えていきたいと考えていらっしゃいます。

住所：岐阜県岐阜市小柳町6-2 1階

TEL：070-7770-3150

営業時間：11:00～14:00(完全予約制)

18:00～22:00(ご予約優先)

※ご予約の方に限り17:00オープン可

定休日：日曜日

【取材・記事 中小企業診断士 都築宏一】

# ◆ 独立行政法人中小企業基盤整備機構 令和7年度中心市街地・商店街等診断・サポート事業 まちづくりオンライン相談

## 支援概要

中小機構では、中心市街地または商店街を中心としたエリアの発展と地域経済の活性化を図ることを目的に、「中心市街地・商店街等診断・サポート事業」を実施しています。

本事業は、「まちづくりオンライン相談」「巡回型支援」「パッケージ型支援」の3つの支援方法により、エリアの活性化を推進する組織並びに多様な組織が連携して実施する事業を支援することで地域経済の循環と地域の持続的発展を図ることを目指しています。

「まちづくりオンライン相談」では、エリアの活性化に向けて取り組む方、またはこれから取り組もうとしている方を対象に、オンラインにより無料で専門家に相談できます。

## 事業の要件

### 支援対象者

オンライン環境がある方で、中心市街地・商店街等診断・サポート事業の目的を理解し、地域課題の解決やエリアの活性化に向けて取り組む、またはこれから取り組もうとしている以下の方が対象となります。(地方公共団体単体での申請はできません。)

●地域支援機関(商工会・商工会議所等)

●地域活性化に取り組む者

●中心市街地活性化協議会

●認定民間中心市街地商業活性化事業者である  
中小企業者

### 受付期間

令和7年4月1日(火)～

令和8年2月27日(金)

## 相談実施期間

令和7年4月中旬～令和8年3月13日(金)

## 相談方法

ZoomまたはMicrosoft Teams  
によるWeb会議にて実施。

オンライン相談を実施する専門家は中小機構が  
選定します。

## 相談時間

1回あたり最大2時間程度(無料)

## 利用回数

年間合計 3回以内

相談内容(例)

- エリアの活性化に向け、どのような取り組み  
をすればよいか／どのように進めればよいか
- 現在取り組んでいる地域課題の解決やエリア  
の活性化に向けた事業に対して専門家の知見  
から助言を受けたい など

## お問い合わせ先

独立行政法人中小企業基盤整備機構 高度化事  
業部 経営診断統括室 まちづくり推進室

TEL: 03-5470-1632

詳細につきましてはホームページをご覧ください。

## ■通常総会開催のお知らせ

第57回通常総会を下記の日程で開催いたします。

日 時: 令和7年5月26日(月) 13:30～

場 所: OKBふれあい会館 14階 展望レセプションルーム(岐阜市薮田南5-14-53)

岐阜県からののお知らせです

# 自動車税種別割は 6月2日までに納税しましょう

自動車税種別割は、県民のみなさんの生活に役立てられています

【納付方法は次のとおり】

### ○ スマートフォン決済アプリを利用した納付

- ・納税通知書に印字されているeL-QRを読み取ることで納付ができます
- ・利用可能な決済アプリについては、地方税お支払サイトをご確認ください

### ○ インターネットを利用したクレジットカード納付



地方税お支払サイト

検索



- ・地方税お支払サイトに手続きができます
- ・税額のほかに納付額に応じた決済手数料が必要となります

### ○ マルチペイメントネットワーク (Pay-easy (ペイジー))

### ○ 全国の主なコンビニエンスストア等

### ○ 銀行などの金融機関

自動車税種別割についてご不明な点は、  
・岐阜県庁HP「自動車税種別割」バナーをクリック  
・岐阜県自動車税事務所 ☎058 (279) 3781  
※詳細は納税通知書に同封のチラシをご覧ください

岐阜県商店街だよりは、岐阜県からの補助金を受けています。